

水問題に関する協議会・第14回幹事会の概要

水問題に関する協議会第14回幹事会の会議結果は、次のとおりです。

- 1 日時 平成30年5月30日（水）午後2時から午後2時40分まで
- 2 場所 愛媛県男女共同参画センター1階 多目的ホール
- 3 会議の概要

西条市から、地下水保全管理計画の周知を図るため開催した「地下水フォーラム2018」の結果や関係団体向け説明会での市民の意見、今後の予定等についての報告、松山市から「県の6つの提案」に対する回答の内容と具体的取組み等についての報告があり、意見交換を行いました。

【西条市の説明】

○市民に向けた説明会等の開催状況

○市民等からの主な意見・要望等

- ・地下水への影響を懸念（硝酸態窒素濃度の上昇 等）
- ・地下水涵養策（黒瀬ダムの流量調節、地下水涵養のための瀬掘り 等）
- ・分水関係（水は余っていない、黒瀬ダムの建設経緯を踏まえるべき 等）

○今後の予定

- ・旧市町単位の市民説明会「市長と水について語ろう」、市内高校生等との意見交換会、「地下水シンポジウム」等の開催により市民の声を集約

【松山市の説明】

○平成29年9月に行われた「県の6つの提案」に対する回答の内容や具体的取組み等

【主な意見交換の内容】

①西条市地下水保全管理計画の説明会について

（新居浜市）地下水保全管理計画を周知するために、市民に向けて説明会を実施しているとのことであるが、説明会ではどのような事柄を説明しているのか。

（西条市）地下水を「地域公水」と位置付け、市民、事業者、行政が一体となって守っていける体制を作り、関係者が一体となって保全し、水量と水質の両面から管理していく必要性を訴え、保全のための取組みや方向性を説明してきた。

②黒瀬ダム の 活用 に 係 る 市民 の 意見 に つい て

- (松山市) 西条市の地下水保全管理計画で優先的に取り組むとしている黒瀬ダムの水の活用について、市民の意見はどうか。
- (西条市) 黒瀬ダムの水の活用は必要と考えている人は多く、ダムの運用で対応してもらいたいと考えている人が大半を占めると感じている。ただ、ダムの運用による方法には難しい課題もあると聞いている。
- (愛媛県) 基本的に、ダムの水を活用するためには、ダムや河川の利用者、国の関係機関との調整、また、河川法などによる法的な制限など解決すべき多くの課題がある。そういった課題を解決するために6つの提案で両市の合意が得られるのであれば、全力で支援をさせていただき提案をしており、そうしたことも踏まえ、この水問題の解決に向け検討を進めていただきたい。

③今後 の 市民 へ の 説明 内容 に つい て

- (愛媛県) 塩水化等地下水の現状や黒瀬ダムの活用方策などについて、市民の正しい理解を深めるため、今後どのような説明を行うのか。
- (西条市) 地下水資源調査等のデータに基づく分析内容を主に説明する。黒瀬ダムの活用方策は、県から示された内容のとおり説明していく。

④「(仮称)西条市地下水保全協議会」について

- (松山市) 本年11月に設立を予定している「(仮称)西条市地下水保全協議会」(以下、「協議会」)の協議内容や取りまとめをする時期などは現段階でどのように考えているのか。
- (西条市) 協議、検討を行う項目については、協議会において決定されるものと考えており、「県営黒瀬ダムの利用」など優先して取り組むべき施策について協議・検討を行うことになると思うが、併せて長期的に取り組むべき施策も提案していることから、議論の取りまとめは、順次行っていきたい。

⑤県 の 提案 に 対 す る 回答 に つい て

- (愛媛県) 県の提案に対する西条市の検討状況や回答に向けた今後の予定、スケジュール感などについての考えはどうか。
- (西条市) まずは、地下水の現状等について市民に周知し、本年11月頃に設立する協議会において、市民の意見等を踏まえた本格的な協議・検討を経て、合意形成を図るとともに、市議会の意見を踏まえ、なるべく早い時期に回答したい。

【会議の結果】

次回幹事会においては、西条市から、今後の市民との話し合いや、協議会における議論、意見集約の状況と取組方針について、「県の6つの提案への回答」に関する検討状況も含め報告を受けることとした。